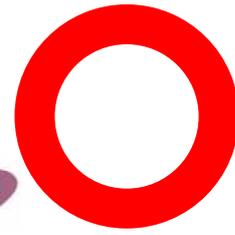


## WLB支援に関する誤解



・ 経営状況によっては取  
り組まなくてよい

・ 労働時間短縮が目的であ  
る

・ 子育て支援や少子化対策  
が目的である

・ 「ほどほどの働き方」への  
転換のことである

・ WLB 支援は制度を導入  
すれば実現できる

・ 仕事中心のライフスタイ  
ル

・ WLB 支援はコストがかかる

・ WLB 支援は、福利厚生施策でなく職  
員にとって基本的な「報酬」、時間生産  
性を高める取り組み

・ 時間生産性が高まり結果として労働  
時間の短縮が実現できるが、短縮が主  
たる目的ではない。長時間労働でない  
職場でも WLB 支援の取り組みが必要

・ すべての職員の WLB 支援が不可欠

・ メリハリのある効率的な働き方の実  
現が WLB 支援実現の必要条件

・ 制度を活用できる仕事の仕方や働き  
方への改革が不可欠

・ 多様な価値観やライフスタイルを受  
容できる職場を実現すること

・ コストを要する施策は少ない